

「採用と入社の際の人事管理のポイント」

永続する会社の上手な採用 研修案内

2015年1月吉日

◆とき 2月18日(水) 午後6時より午後8時30分まで

◆ところ かでる27(道民活動センター) 1010会議室

住所: 札幌市中央区北2条西7丁目 電話: 011-271-1916

注意: お車でお越しの場合は、会場には地下に有料駐車場があります。駐車料金は各自でのご負担となります。

◆1名の参加費 2,000円 (消費税・研修費・資料代含む)

*参加費は、研修会当日会場で現金でお支払い下さい。

◆対象 経営者・幹部社員・社員、どの階層の方でも結構です。

◆定員 30名

*2月13日を申し込みの締切日とさせていただきますが、その前に定員になりましたら受付を終了致します。

タイムスケジュール(予定)

受付		17:30~18:00
オリエンテーション(創造経営の考える人材育成)	事務局 吉見	18:00~18:30
採用と入社の際の人事管理のポイント	八重崎 聖子氏	18:30~20:30
解散		20:30~

■申込: 別紙参加申込書を日本創造経営協会 北海道支部事務局 経営コンサルタント吉見事務所へ
FAX送付(011-631-3600)をお願い致します。

(同じ内容の記載で、電子メールでの申込みも可: postmaster@mc-yoshimi.com)

[講師のご紹介]



社会保険労務士法人熊谷・八重崎事務所

社会保険労務士 八重崎聖子氏

釧路市出身。20年間、北海道新聞社で編集業務等に携わった後、労働・年金問題の専門家である社会保険労務士の資格を取得。2012年、「社会保険労務士法人 熊谷・八重崎事務所」を設立。労務管理に関する相談、セクハラ・パワハラ、メンタルヘルスに関する相談や研修、就業規則の作成・見直しなどの業務を行っている。産業カウンセラー。セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止コンサルタント(21世紀職業財団)。

「採用と入社の際の人事管理のポイント」

★公開ゼミの内容★

最近、経営者や人事担当の方から、次のような悩みや質問が増えています。

- ① 採用面接で聞いて良いこと、いけないことがあるようだけど、どのようになっているの？
- ② 中小企業に効果的な採用の手法や事例があれば教えて欲しい。
- ③ 採用時の経歴詐称が入社してから判明したとき、会社は何ができるの？
- ④ 募集時に労働条件の明示をしなさいとあるけれど、具体的にどのようにするといいの？
- ⑤ せっかく内定しても、最近の内定辞退者が多くて困っている。
- ⑥ 試用期間に起きやすい問題と、その際の企業の留意点は？
- ⑦ 新入社員が組織に馴染むのに時間がかかるし、理想と現実のギャップから退職者が出て困っている。これは我が社だけ？
- ⑧ ゆとり教育世代の新人の育成はどうしたらいいの？
- ⑨ 今年新人迎え入れる企業の注意点は？
- ⑩ 指導担当の先輩上司に求められることは？

「皆様が抱える疑問や課題に誠実に向き合い、生き生きした職場づくりをともに考えます。」が社会保険労務士 八重崎聖子氏のモットーです。

このような皆様の疑問や迷いや不安に対し、今回社会保険労務士 八重崎聖子氏の豊富な知識と経験から、法的な側面、実務的な側面を判例や事例を交えながら、企業の対処方法を実践的に示して下さいます。

皆様からの事前の質問もお受けしています。事務局の吉見までお知らせいただけましたら、講師にお伝えいたしますので、積極的にご利用ください。

ご挨拶

日本創造経営協会 北海道支部 支部長 長谷川 徹
(環境開発工業株式会社 代表取締役会長)

新しい年を迎え、改めて21世紀に活躍する人材とはどのような人か考えてみましょう。

総論では、「夢」や「志（ミッション）」を抱いている人に囲まれて仕事をしたいものです。「夢」や「志」を抱いているか否かは年齢には関係ありません。50歳を超えても自分の儲け（金）ばかり考えている人もいますし、30歳前後でも大きな「夢」を持ち、その実現に努力している人もいます。「世の中を、より便利に、より楽しく、安全にしていこう」とする知的好奇心や成長意欲は、高齢になられてもまったく衰えを見せない人もいます。

企業経営は実践の場ですから、各論としては、真に自立し、協調性も兼ね備え、全体が見える人に恵まれないのが経営者の願いです。

最近ではこれまで以上に企業の「社会的責任」や「社会貢献」が問われています。このためには、本業でゆるぎない経営が確立されていなければいけません。少なくとも、「自社を年々より良い会社にしていく」というはっきりした目標と行動が経営層だけでなくリーダー層にも必要となったということです。

また現在はお手本や正解のない時代とも言われます。自分で解決すべき問題を発見し、それを解決するための手段・手法を自分の頭で考えて、さらに実践（行動）する事が求められています。そして仕事は組織的に行われるわけですから、自分の意思を明確にする力も不可欠です。周囲にうまく伝える、巻き込んでいく能力も高めなくてはなりません。

組織は個人の集合体ですから、組織目的を理解した上で、一人ひとりのメンバーが、自分自身で高い目標を掲げ、その実現に向けて計画を立て、持てる能力を総動員して実行し、結果を評価・分析して次の行動に結び付けていくと良いわけです。こうしたPDCAサイクルを自律的に回せる人は、継続的に成果を出せる可能性は高くなりますし、自分自身を成長の軌道に乗せることができるでしょう。例えリスクを取って失敗したとしても、単に失敗のまま終わらせず、次の成功のための糧にするはずで、働く事は大変なことであるけれど、楽しく面白いものです。今年も自分を伸ばす一年として行きましょう。

FAX送信

日本創造経営協会北海道支部 2月18日 創造経営公開ゼミ

参加申し込み（ 名）

出席される方のお名前をご記入下さい。

(いずれかに○印をつけて下さい)

法人名	出席者名	会員・非会員区分
		会員・非会員
		会員・非会員
		会員・非会員
		会員・非会員
		会員・非会員

【申込責任者】

ご住所 _____

貴法人名称 _____

お電話番号 _____

FAX番号 _____

メールアドレス _____

申し込み責任者のお名前 _____

FAX送信先 011-631-3600

日本創造経営協会 北海道支部 事務局 創造経営コンサルタント 吉見事務所宛